

再処理企業協議会

かわら版 さいくる 2015年8月 第15号



構内作業に従事されている皆さまへ、あなたも“再処理企業協議会”の会員です！

今月の担当者



渋谷



渡部

2015年(平成27年)7月28日発行
再処理企業協議会 広報部会
〒039-3212
青森県上北郡六ヶ所村大字尾敷字弥栄平1-5
再処理企業センターB棟
TEL(0175)71-2487 FAX(0175)71-2488
URL <https://www.saisyori-kigyogyogikai.jp/>



再処理企業協議会

厳しい暑が続いています。水分補給と休息 元気で乗り切りましょう！！

第2回 ダーツ大会

6月15日(月)から19日(木)の4日間で、39チーム117名の方が参加され、盛大に実施されました。

- 【団体の部】
- 優勝：999スリーナイン 503点
(山九プラントテクノ(株))
 - 2位：まさるまりコズ 495点
(日本建設工業(株))
 - 3位：TPT 482点
(東京パワーテクノロジー(株))
- 【個人の部】
- 優勝：高橋 和美 殿 226点
(ニチアス(株))
 - 2位：榊 京介 殿 225点
(三和テクノサービス(株))
 - 3位：須藤 浩嗣 殿 216点
(日本建設工業(株))

*詳細は会報4号(7月10日発行)をご参照下さい。



第2回 再処理企業協議会杯 ゴルフコンペ結果

7月11日(土)再処理企業協議会杯 ゴルフコンペが、下北スリーハンドレッドゴルフクラブで開催され、暑さにも負けず49名のプレイヤーが腕を競い合いました。

【結果】		GRSS	HDCP	NET
優勝	： 附田 角栄 殿	92	21.6	70.4
	(六ヶ所エンジニアリング(株))			
2位	： 井石 貴樹 殿	92	20.4	71.6
	((株)木内計測)			
3位	： 鉤 孝幸 殿	90	18.0	72.0
	(日本原燃(株))			



再処理事業所紹介 品質保証部

再処理企業協議会の皆様、いつも大変お世話になっています。品質保証部長の中林です。今回は、品質保証部の業務について紹介させていただきます。

品質保証部は、皆さんよくご存知と思いますが、再処理事業部のQMS(品質マネジメントシステム)活動の運営と推進を行っている部署です。QMS活動は当社の保安活動を行っていくに当たっての基本であり、企業協議会の皆さんともこの活動の中で一緒になって仕事を行っていますので、ご協力を宜しくお願いします。

また、福島を契機に法律に安全文化を醸成する活動が取り込まれました。これを受けて企業協議会の皆さんにも安全文化醸成活動を実施して頂くとともに、毎月開催しています「再処理事業部品質保証連絡会」の中で当社共々活動事例の紹介をして頂いています。活動事例の紹介を通じて、それぞれの会社、個人の安全に関する活動の改善や向上のためのヒントになればと思っています。

品質保証部の業務は外からは分かりにくいと思っている方も多々おられると思いますが、決して現場と乖離した部署ではありません。ルールを分かりやすく、使いやすくするのも私達の仕事ですので、品質保証に関する相談や質問等ありましたら、気軽にお問い合わせ下さい。



品質保証部 中林部長

【お知らせ】

《これからの教育・見学会等の予定》

- 8月 : 再処理プロセス教育(ユーティリティ施設)
- 8月 : 第2回現場指揮者教育
- 9月 : 次世代エネルギーパーク視察見学会
- 10月 : 第3回ボーリング大会



日本原燃(株) 安全大会

7月8日(水)「全国安全週間」に呼応し、六ヶ所村文化交流プラザ「スワニー」に於いて、日本原燃(株)主催の「安全大会」が実施されました。

日本原燃(株)社長による主催者代表挨拶、来賓として、むつ労働基準監督署署長、野辺地警察署署長、日本原燃労働組合本部執行委員長の挨拶があり、引き続き、安全活動発表、記念講演として、食生活ジャーナリスト 佐藤達夫氏による、「安全は健康な身体から～生活習慣病予防と食の健康～」があり、大会決議が行われました。



日本原燃(株) 工藤社長



「安全衛生方針」

1. 基本ルールの順守による労働災害・交通災害の防止
2. 心身両面にわたる健康づくりの推進
3. 安全で快適な職場環境の形成

2015年度 第1&2回勉強会

【第1回勉強会】

5月28日「再処理プロセス教育(分析施設)」×15大会議室において、分析課 新津課長による分析建屋の施設概要、分析処理の流れ、トラブル事例等についての有意義な講義がありました。

出席は22社80名でした。



【第2回勉強会】

6月18日「設計及びプロジェクト管理」×15大会議室において、再処理企業協議会 栃木専務理事による電気計装品に係る、設計の考え方や管理の方法についての有意義な講義がありました。

出席者は13名でした。



編集後記

昭和43年2月関門海峡を通過し、冬の日本海を北上して、陸奥湾に入った時は波穏やかで別天地のように感じたのを思い出しました。周りの山々は雪化粧で空・海の青さとの景色に感動したものです。

積雪でバスが2時間も来ないこと、軒のつららが危ないことなどを教えてもらい、人の親切さを感じたのもこの時でした。ダイコンの煮物とあつ爛が美味しかったです。

陸奥湾は対馬暖流が流れ込み、ホタテなど多くの魚介類が生育しやすい環境にあるのではと思います。

青森港は新中央ふ頭が完成し、客船も多く寄港するようになりました。夏祭り(ねぶた、ねぶた)の季節になります。機会を見て、客船の入出港や停泊中の姿を見に行ってみようか！

